



桜虹会だより

2019年度 Vol. 1



2019.7 あんず旅行

「里山レストラン村の灯」にて



あいづラザ前にて

花壇の植え替えして管理してます



あんずでの

パン販売は順調！



お花見

寒かった…

二〇一〇年から発信を始めた桜虹会だよりも九年目を迎えます。表紙では桜虹会歴代の理事、評議員、監事の方々に桜虹会との関りやいろいろな所感を執筆していただきました。実にたくさんの方に役員を引き受けて頂いてきたのだと痛感しました。また、昨年執り行った「桜虹会設立十五周年記念式典」の中で「桜虹会のあゆみ」を振り返りましたが、小さな作業所のことからこれまで、地域の方々や障害福祉に関わる方たち、たくさんの方たちに支えられていたのだと改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

私が入職した当時は、十人もいないメンバーさんと何をするにも一緒に行動していました。精神障害者に対する福祉制度もまだ十分なものではありませんでした。今では障害を持つ方が自分でサービスを選ぶことができます。桜虹会の事業所を選んでくださる方も六十名を超え、職員も十七名になりました。昨今、社会福祉法人だからこそ地域に貢献することを求められます。「地域の中で貢献できることって何だろう」と考えたとき、障害を持つ方々を日々支援する中で、誰もが安心して暮らせるような地域のしくみ作りに貢献すること、そう思えます。桜虹会の職員ひとりひとりが桜虹会の一員であることをより意識し日々の仕事の延長線上に社会貢献があると感じることできたらいいなと思っています。

理事 木村順子



にじのえき

6月8日(土)ひかり園まつり

大好きな仲間と一緒に、
かっこいい生演奏で歌っ
てきたぜ。

～曲目(メドレー)～

男の勲章

青い珊瑚礁

きよしのズンドコ節

LOVE マシーン

永遠にともに

YHA YHA YHA YHA



「今日から俺は！！」



私たちも
歌ったわ

私は聖子ちゃん♡

泣きたくなるような辛い時もあるけど
いつも俺たち頑張ってきた♪

by.男の勲章

今年は駄菓子販売と歌出演をしました。職員の無茶ぶりメドレーで演奏
者様が大変な目に☹️ 素敵な Music を作っていただけてからは猛練習♪
歌って踊っての日々を乗り越え、本番は見事 大成功(自画自賛)👏



コーヒーショップあんず



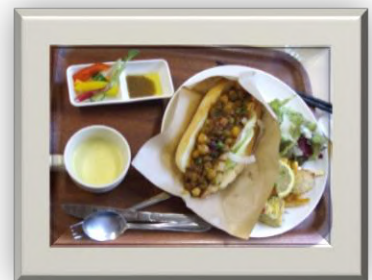
日帰り旅行に行ってきました！

7月20日(土)に府中市と世羅町を縦断した旅行をしました。

まずは、府中市にある“里山レストラン村の灯(あかり)”にラ
ンチを食べに行きました。去年のあんず旅行で行く予定だったの
ですが、7月の豪雨災害で駐車場が土砂崩れをおこしたため中止と
なり、1年越しのランチとなりました。

世羅町では、世羅高原のジェラート工房 Donna に行き、それぞ
れ好きなジェラートを注文し、途中溶け始めるというトラブルに
巻き込まれながらも、美味しく自然を満喫しながら食べることが
できました。道の駅に寄ったり、通ると音楽が流れるフルーツロード
を通りながら帰ってきました。

大雨の予報や台風の接近などの心配もありましたが、ちょうど
雨も降らず、ほとんど傘を使うことなく楽しむことができました。
3日前から喫茶に吊るした“てるてる坊主”が見事に力を発揮して
くれました！！



☆豪華な昼食☆



☆ジェラート工房にて☆

ハナミズキ

THE OUTLETS
HIROSHIMA

ジ・アウトレットに行ってきました

7月6日（土） 梅雨真っ只中でしたが、天気にも恵まれ買い物日和。フロアーガイドを片手にアウトレットを散策しました。1階は飲食やアミューズメントの店が多くあり、スケートやボーリングの遊び場もありました。広い敷地内を歩き回り少し疲れも出ましたが、お目当ての物が買えてほっと一安心。次回はどこに行こうか??そんな会話をしながら家路につきました。



さくら相談支援事業所



7月7日に起きた西日本豪雨災害から一年が経ちました。災害時にはさくら相談支援事業所も社会復帰施設連絡会からの要請を受け、被災された方のお宅を戸別訪問し、生活の困りごとの聞き取りや土砂の撤去のボランティアなどを行いました。実際の災害現場を目の当たりにしたことは、事前の防災への取り組みの大切さを再認識させられました。

ハザードマップの確認や緊急時の連絡体制の取り方や自宅から一番近い避難所への避難経路の確認など、今では訪問時の確認事項の一つに自然となってきたように思います。台風や豪雨など事前に予知できるものについては、一人暮らしの方には事前に連絡を入れたり、警報発生時には状況確認の電話を掛けたりすることが当たり前になり、相談者の方だけでなく相談員自身の意識も変わった一年だったかと思います。

生まれ変わったら何になりたい？

- ・小3・4年生で担任だった先生（S・Y）
- ・けいさつかんになりたいです。
- ・社長のむすこ。女の社長やりたい（綱本まり子）
- ・宇宙飛行士
- ・医者の子（匿名希望）
- ・マリック。
- ・人間（坂本ゆみ子）
- ・スポーツ選手。結婚したい。（S.T）
- ・パンダ
- ・NARUTO ナルトになりたいです。（丸山恵輔）
- ・在宅ワーカーか動画作りするユーチューバーになりたいです。
- ・ビジネスマン
- ・犬 ゴールデンレトリバー
- ・芸能人か宗教家（勝田義広）
- ・男
- ・JRの在来線の運転手（匿名希望）



今いちばん会いたい人は？

- ・おばあちゃんあいたい（松本隆之）
- ・洋子ちゃん（坂本 ゆみ子）
- ・40年前の自分（匿名希望）
- ・亡くなった母（匿名希望）
- ・MOBY（匿名希望）
- ・小中高一緒だった友達（匿名希望）
- ・いここにあいたいです。
- ・清木場 俊介
- ・本田 翼
- ・げいのうじんにあいたい
- ・わかりません。
- ・亡くなった両親に会いたい（匿名希望）
- ・H・Wさん
- ・昔の先生 学生時代の
- ・きよし本人に好きよと言いたい（公子さん）
- ・親に会いたい
- ・しんせきのおじさん
- ・離れて暮らす子供達（M）
- ・仲の良かった友達（N・Y）
- ・あの！あの人よ！！例のやつ。

行ってみたいところはどこですか？

セタにちなんで、メンバーさんに3つの質問をしました♪

- ・広島駅。野球見に行く。（矢田）
- ・オーストラリア
- ・ラベンダーのはたけ
- ・日光東照宮へ行き陽明門を見たい（K.Y）
- ・テレビ局でドラゴンボールがみたい
- ・スイスの高地を散歩 生活してみたい
- ・さくら作業所がいい（匿名希望）
- ・フランス（匿名希望）
- ・フランスのプロバンス（水無月 順子）
- ・日本国内の旅行ならどこで
- ・ホテルや温泉でゆっくり寝てみた
- ・日本一周してみたい
- ・長崎（西田研一）
- ・美川ムーバレー（匿名希望）
- ・広島にサッカー専用スタジアムができれば行ってみたい。是非作ってほしい。（N.S）
- ・石見銀山（匿名希望）
- ・アメリカ（匿名希望）
- ・富士山（匿名希望）
- ・四国の温泉に行ってみたいです。（匿名希望）
- ・ハワイ
- ・フランス
- ・アメリカ（匿名希望）
- ・岡山県
- ・東京
- ・沖縄（谷川 博史）
- ・岩国
- ・東京ディズニーランド
- ・カラオケに行ってみたい
- ・パリ（匿名希望）



桜作業所



下関へ日帰り旅行に行ってきました



6月29日(土)に年に一回の大イベント、日帰り旅行へ行ってきました！今回は山口県の唐戸市場と海響館へ・・・♡
お昼ご飯ではなんと一貫 500 円の大トロを食べたメンバーさんも！！新鮮な海鮮料理を食べてみなさん大満足な様子でした♪
お腹いっぱいになった後は、海響館へ行きイルカとアシカのショーを見たり、フグの展示を見たり・・・(フグだけで10種類以上！)
天気が心配でしたが幸い小雨で済み、良い旅行となりました♪



～新しい施設外作業を始めました～



内職作業でお世話になっている健康クリーニングさんの施設の一部をお借りしてタオルをたたむ施設外作業を始めました。タオルの種類やそれぞれのたたみ方など、最初のうちは戸惑うこともありましたが、今では慣れてスムーズに作業ができています☆

毎週木曜日の10時から14時半まで、ちょっと疲れるけど、頑張るぞ～～！！



はじめまして、3月初旬から桜作業所の職員になりました、上島(かみじま)です。前職は医療職でしたが、紆余曲折を経て社会福祉の道を歩むことになりました。作業はまだまだ慣れたとは口が裂けても言えませんが、メンバーさんや職員に日々教わりながらどうにか毎日をご過ごしております。
どうぞよろしくお願い致します。



新人職員の紹介

はじめまして。

7月から桜作業所の事務をさせていただいております、内田です。

スポーツは得意ではないですが、ものづくりをすることは好きです。

まだ、不慣れでご迷惑をおかけすると思いますがどうぞよろしくお願い致します。



「ひきこもり」について知っていますか？

内閣府は、今年 3 月の調査で 40 歳から 64 歳のひきこもりの人は全国で 61 万人以上との推計値を発表しました。若年(15 歳から 39 歳)のひきこもりの人は 50 万人以上いると言われているので、合計すると 100 万人以上となります。

広島県には以下のようにひきこもりの相談窓口があります。気になる方はぜひ相談してみてください。



- ・このままではいけないと思ってはいるが、ずっとひきこもっていたのでどうしていいかわからない、怖い
- ・働くように言われているが、なにからどうしていいかわからない、人と話すもの不安
- ・ひきこもっている子どもにどう接したらいいかわからない、家族はどうしたらいいのか

県内のひきこもりの相談窓口

	西部センター	中部北部センター	東部センター
運営	特定非営利活動法人 青少年交流・自立・支援センター Cross	一般社団法人 広島県精神保健福祉協会	特定医療法人仁康会 小泉病院
所在地	広島市西区 楠木町 1 丁目 8-11	広島市安芸区 中野東 4 丁目 5-25-2F (SENO リバービレッジ内)	三原市小泉長 4245
電話番号	082-942-3161	082-893-5242	0848-66-0367
開所時間	月・水・木・金・土 9:00～18:00 (祝日を除く)	月・水・木・金・土 8:45～16:45 (祝日を除く)	火・金 9:00～17:00 (祝日を除く)
担当地区 市区町名	広島市(安芸区を除く)、 大竹市、廿日市	広島市安芸区、呉市、 竹原市、三次市、庄原市、 東広島市、安芸高田市、 江田島市、府中町、 海田町、熊野町、坂町、 安芸太田町、北広島町、 大崎上島町	三原市、尾道市、福山市、 府中市、世羅町、 神石高原町

厚生労働省が作成したひきこもりのガイドラインでは、ひきこもりを以下のように定義しています。「様々な要因の結果として社会的参加(義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊など)を回避し、原則的には 6 か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態を指す現象概念である。なお、ひきこもりは原則として統合失調症の陽性あるいは陰性症状に基づくひきこもり状態とは一線を画した非精神病性の現象とするが、実際には確定診断がなされる前の統合失調症が含まれている可能性は低くないことを留意すべきである。」

桜虹会後援会

2018 年度会計報告

収入の部		支出の部	
前年度より繰越	2, 6 5 6, 8 8 2	通信印刷・郵送代	2 7, 3 3 4
会 費	5 6, 4 0 1	来年度へ繰越	2, 6 8 5, 9 5 6
利 子	7		
合 計	2, 7 1 3, 2 9 0	合 計	2, 7 1 3, 2 9 0

秋保和徳 阿部和実 阿部純二 荒木洋子 飯田元陸 石井スミエ 藤徹也・敦子 宇佐美妙子
 畝沖春美 大貫哲也 大野宜江 沖田健吾 沖原俊彦 柿丸慶子 鍵本久治 柏尾良一 片田孝志
 亀井和志 亀井俊雄 亀本すみ子 川上明美 川本節子 川本義弘 木村悦子 木村順子 国政康子
 熊谷三智也 小泉敏信 神戸百代 斉藤寿美子 佐川富貴恵 櫻井正弥 佐々木菊江 佐々木みち子
 佐藤美佐子 清水弥生 新家ひとみ 曾根朱美 竹下きよみ 武田俊子 田中博隆 田中陽子
 椿京子 鶴原富夫 中川布美子 中本恵 中藪真澄 新田房子 野村大輔 林千代子 平岡章子
 平田万里子 平田祐子 平野範子 広兼迪也 福原郁子 正木シズミ 松田英治 松野純夫
 松本富伯 松本美津枝 宮地秀樹 保井彰 山中祐介 山本美恵子 山脇叡子 吉田末廣 脇田敏明
 廿日市市中央地区民生委員児童委員協議会 廿日市地区民生委員児童委員 (五十音順、敬称略)

＊ ＊ 2018 年度に後援会にご加入頂いた方々です。ありがとうございました。 ＊ ＊

現在、社会福祉法人桜虹会では、「さくら作業所」「にじのえき」「コーヒーショップあんず」「ハナミズキ」「さくら相談支援事業所」で地域福祉向上のために活動しています。後援会は、今後も事業所の運営の支援及び地域で暮らす障がいのある人が安心して生活していくために桜虹会を支援して行きます。つきましては新規・更新会員の募集をしますので、よろしくお願い致します。

年会費 ＊個人1口 1,000 円 ＊団体1口 3,000 円
 郵便振込(振込手数料無料) 口座振替 0 1 3 7 0 - 5 - 7 4 3 8 3

＊ 後援会ご入会のお問い合わせは、下記の事業所までお気軽にどうぞ

- ・ にじのえき 廿日市市友田 799-1 0 8 2 9 - 7 4 - 3 0 3 0
- ・ さくら作業所 廿日市市平良 1-2-44 0 8 2 9 - 3 1 - 5 0 0 9
- ・ コーヒーショップ あんず 廿日市市新宮 1-13-1 0 9 0 - 2 2 9 3 - 0 9 9 9
- ・ ハナミズキ 廿日市市平良 1-19-22 0 8 2 9 - 5 9 - 1 2 8 1

編集後記

平成の時代が終わり、新しい元号「令和」が5月から始まりました。テレビやマスコミは、新元号が決まったあたりから毎日のように平成時代のニュース・事件などを流していましたが、私の中では何も変わることはなく、淡々と日々が過ぎていきます。この変わらないことが当たり前を、最近の地震や豪雨災害を見るたびに考えてしまいます。ご飯を食べ、テレビを見て、お風呂に入り、そろそろ寝ようかと布団に入り、そしてまた起きるの繰り返しは、当たり前でなく、自分たちで守っていくものなのかもしれないと、最近つくづく思います。ましてや、障がいを持たれた方が、当たり前でない非日常の現実と直面したとき、どういった支援が必要になってくるのか……。令和の意味にふさわしい「世界が調和され、平和が永遠に達成される」という時代を築きたいものです。

さくら作業所 村上良子